

ピアソン VUE と日本エス・エイチ・エルは就職を目指す学生向けの総合適性検査にオンライン監督による自宅受検を追加

2021 年 1 月 25 日 (東京) - ナショナル・コンピュータ・システムズ・ジャパン株式会社 (ピアソン VUE) は、日本エス・エイチ・エル株式会社 (以下：日本 SHL) の総合適性検査の CBT 契約を複数年で更新し、新たにオンライン監督のサービスを追加したことを発表しました。この契約により、これまでのピアソン VUE 公認テストセンターでの検査実施に加え、新たにオンライン監督による自宅受検のオプションを受検者に提供することが可能となります。

人材アセスメントサービス会社である 日本 SHL は、日本の大手企業でも利用されている適性検査や性格検査を始め、さまざまなトレーニングコースや人事アセスメントサービスを提供しています。

日本 SHL が実施する総合適性検査は、志望企業にエントリーする際に課される、学生の分析スキル、論理スキル、および数学的スキルを評価するための検査で、多肢選択式と図形やグラフィックを使用した設問等を用いて学生のさまざまなスキルを評価します。

雇用市場の競争が激化し、企業が特定のスキルセットを重視する中、ピアソン VUE との新たな契約により日本 SHL は多くの顧客企業の採用プロセスを合理化できるようになります。今後、学生は総合適性検査を従来のピアソン VUE 公認テストセンターまたは、自宅で受検できるようになります。ピアソン VUE のオンライン監督試験である OnVUE は、日本 SHL の受検者が快適な自宅で、ウェブカメラを介して遠隔の試験監督員 (プロクター) に監視されながらオンラインで試験を受けることを可能にします。また、OnVUE で受検する際の試験監督員とのコミュニケーションは日本語で行われます。オンラインでの受検を希望する遠隔地の学生など、企業はより多くの学生に柔軟な受検機会を提供できるようになります。

日本 SHL の取締役である三條 正樹氏は次のように述べています。「高品質な CBT 配信を提供してくれるピアソン VUE のオンライン監督試験を利用することで、現在配信中の当社テスト (総合適性検査) を世界の隅々まで提供できるようになります。顧客企業とその受検者により大きなメリットを提供できることは、当社の事業を後押ししてくれると確信しています。」

ナショナル・コンピュータ・システムズ・ジャパン株式会社 (ピアソン VUE) の代表取締役である池田 哲は次のように述べています。「今回、SHL の総合適性検査について、従来のテストセンターに加えて自宅受検のサービスを提供できることを大変光栄に思います。テストセンターと併用して自宅受検という新たなオプションを加えてより多くの受検機会を設けることで、この世界的なパンデミックの最中でも、企業は学生の採用活動を止めることなく、総合適性検査をより一層便利に活用していただけると期待しています。」

日本 SHL について

日本 SHL はイギリスに本社を持つ SHL グループとライセンス契約を結び、日本国内の企業向けに人材アセスメントサービスを提供しています。人と仕事と組織の個性を明らかにするための測定ツールを提供し、測定データの適切な解釈と活用を通して、企業組織の生産性向上とそこで働く社員の自己実現をはかることが、ミッションであると考えています。日本 SHL のサービスは、採用選抜、配置配属、昇進昇格、能力開発、組織開発など様々な人事場面で活用されています。詳細については、<http://www.shl.co.jp/> をご覧ください。